**堀川　アサコ　（ほりかわ・あさこ）**

昭和39年、青森市生まれ。同市在住。平成14年、『芳一―鎮西呪法絵巻（ほういち―ちんぜいじゅほうえまき）』が第15回小説すばる新人賞の最終候補となる。平成18年、『闇鏡』（新潮社）で第18回日本ファンタジーノベル大賞優秀賞受賞。著書に『たましくる　イタコ千歳のあやかし事件帖』（平成21年、新潮社）、『幻想郵便局』（平成23年、講談社）、『予言村の転校生』（平成26年、文春文庫）、『竜宮電車』（平成27年、徳間書店）、『おせっかい屋のお鈴さん』（平成28年、角川書店）、『小さいおじさん』（平成28年、新潮文庫）、『月下におくる　沖田総司青春録　上下』（平成29年、講談社文庫）、『100回泣いても変わらないので恋することにした。』（平成29年、新潮文庫nex）、『オリンピックがやってきた　1964年北国の家族の物語』（平成29年、角川書店）等がある。

当館特別展「平成の青森文学」図録（平成30年7月14日発行）より